

(株) 第一興商 第35回番組審議会議事録

○審議期間 2021年3月末日
新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の延長を受け、書面開催

○審議課題

◇スターデジオ『Ch. 400 DAM 鉄板！新曲&プッシュアーティスト』

1. 番組内容について
 - 1) 番組の意図・目的と番組構成
 - 2) 放送楽曲、紹介アーティスト
2. 番組改編（リニューアル）において
リニューアル目的に対する取り組みの実効性
3. その他
編集基準について

審議会委員（敬称略）

弦 哲也	作曲家 日本作曲家協会理事長（審議会委員長）
音 好宏	上智大学教授（議長）
湯川 れい子	作詞家/音楽評論家
ボブ 佐久間	作曲家/指揮者 日本作編曲家協会理事
伊藤 薫	作詞家/作曲家

局側

(株)第一興商

保志 忠郊	代表取締役社長
渡邊 泰人	常務取締役兼上席執行役員 エンターテインメント事業本部長

エンターテインメント事業本部

渡辺 宏	BGMメディア推進部長
八巻 任	BGMメディア推進部次長
吉倉 聡	放送制作課長

■番組説明

□番組の意図・目的

カラオケ歌唱促進、DAMコンテンツ訴求、推しアーティスト訴求、視聴者が「カラオケに行きたくなる」「カラオケのレパートリーを増やすキッカケになる」チャンネルを目指しています。

□番組構成

カラオケの最新人気曲紹介、注目のアーティスト紹介、歌唱意欲を喚起するプレイリストの紹介。

番組尺：120分 / ナビゲーター：あり / 視聴ターゲット：カラオケユーザー

□番組改編 ～リニューアルの目的と取り組み～

- ・視聴ターゲット層を意識した、J-POP 中心の選曲、演歌コーナーを分けた構成へ変更。
- ・カラオケレパートリーを広げていただくことを意図とした、旧譜・名曲を紹介する「カラオケプレイリスト」コーナーを追加。
- ・紹介曲を覚えていただくことを意図とした、ヘビーローテーション編成へ変更。
ランキング紹介：TOP40 から TOP20 / 編成時間：4 時間から 2 時間

■番組審議

2019 年 7 月開催に続き、『Ch. 400 DAM 鉄板！新曲&プッシュアーティスト』チャンネルを審議対象とさせていただきます。前回頂戴しました様々なご意見を参考に、2020 年 4 月に番組をリニューアルしました。

1. 番組内容につきまして

- 1) 番組の意図・目的と番組構成についてご意見、ご感想をお聞かせください。

◎審議委員：

構成は自然体で聴くことが出来ました。

全体の流れがいい。生インタビュー等、アクセントになり退屈しない。

MC（女性）さんの声が最初はアニメキャラっぽさが気になりましたが長く聞いていると気になりませんでした。コメント内容がとてもいいです。

○局側回答：

前回の番組審議委員会でご指摘いただいたご意見を参考にし、番組全体を再構成しました。コメント内容を含めリサーチを行い台本に反映しております。

◎審議委員：

だいぶ内容が整理されて、J-POPを中心に、演歌のコーナーを切り分けたのは正解だと思います。4時間から2時間というのも番組として限度でしょう。

それでも2時間集中して聴くターゲット層というのが、あるのか無いのか。

むしろ何か他の仕事をしながら聞く、「ながら層」を意識して作るほうが良いのでは？と感じました。

○局側回答：

前回の番組審議委員会でご指摘いただいたご意見を参考に、J-POP中心に構成しました。番組尺を2時間に短縮し、カラオケの最新人気曲、注目アーティストの意識づけ、カラオケ歌唱促進に繋げるべく試みを図っておりますが、内容面でも改良できる所があるかと思っておりますので、ご意見を参考にさせていただきます。

◎審議委員：

番組の意図としては選曲も、曲の並びも適正かと思えます。

オープニングトークの尺も長すぎず短すぎず、台本的に邪魔になることもなく楽曲の解説として適切に感じます。

「DAM」その物のブランドとともに、DAMランキングの信頼性に関しては一般の人たちもすでに多く認識していますから、ヒットしている楽曲をつなげて聴ける面白さやニュース性も良いと思います。

その上でこの先もネットでは知り得ない希少なニュースなどをたくさん網羅できると、この番組のプレミアム感が増すと思えます。

そしてやはり、アーティストさん自身がトークされると、思わず聞き入ってしまいます。

人となりも分かるし、グループ内での人間関係も想像できるし、それほど格別にトークが上手でなくてもそれなりに、話が達人な人だとビジュアルも知らないのに、僕も楽しんでしまいます。

アーティストが実際に話しているシーンは、特別な時間として感じる事が出来ました。

○局側回答：

DAMランキングは他社に無い、全国で歌われているカラオケランキングデータです。引き続き活用して参ります。アーティストコメントが挿入されると番組全体のクオリティも上がり華やかになりますので引き続きカラオケと連動して参ります。

【議長総評】

今回、審議対象番組となった「Ch. 400 DAM 鉄板！新曲&プッシュアーティスト」は、番組の意図・目的とその構成について、審議委員から概ね適正との評価をいただいた。

2) 放送楽曲、紹介アーティストの適正についてご意見、ご感想をお聞かせください。

◎審議委員：

概ね問題ないと思います。

生コメントの数もちょうどいい数だと思います。

ただ、コメントアーティストの音声ボリュームが少々バラついているかも。

曲サイズもちょうどいい感じです。

演歌コーナーは聞いている年代を考えると若手中心でもいいかもしれません。

◎審議委員：

常に「今回、今月、今週は何を推すか」という事を最重要コンセプトとして、コーナーごとに選曲すること。そこにしか「適正」は無いものと思います。

そこに、いかにアクセントを置くか。

これはナレーションの方法にもかかって来るものだと思います。

○局側回答：

第一興商としての推しアーティストの決定に伴い、放送タイミングをカラオケ担当部門と共有し連動しております。アクセントとしましては、アーティスト自身のコメントを曲前に流しますが、ご助言を意識し更にアップデートできるようにして参ります。

◎審議委員：

今まさにヒットしている楽曲、これからヒットが約束されている楽曲が続けて聴けるのですから、習慣づけて聴けば連続してのヒット動向が分かるわけですし、何よりも御社のリサーチという裏付けがあるので、たとえば余り興味のない楽曲でも、とりあえず売れているのだから聴いておこう、アーティストにしても好き嫌いに関係なく、世間が推しているのだからチェックしよう、と思うリスナーも多いのではないのでしょうか。

放送楽曲をヘビーローテーションの手法で、聴いたことがあるから知っているに変えてゆく、といった方法には賛成です。

人間はパワープレイに弱いのですから、一定時間内に同じ曲を複数回流す、それを何度もリピートするとかなりの効果になると思います。

でも人には好き嫌いがありますから、推薦楽曲に関してはある程度慎重に選曲されることを望みます。

ちなみに僕はスターデジオではボサノヴァや映画音楽など、イージーリスニング系を聴くことが多く、それこそ詞や曲を書いている最中でも薄く流していることがあります。

別のチャンネルの中には膨大な楽曲があり、自分で好きなチャンネルを探して聴けばいいので、放送楽曲としては、まったく申し分ないと思います。

◎審議委員：

時代性に拘るのも良いが永く続くような楽曲やアーティストにも目を向けたらと思います。

○局側回答：

配信楽曲のリリースが本当に多くなっており、カラオケで配信するとともに、スターデジオも取りこぼしの無いよう、かなりの頻度でチェックしております。DAMブランドを活かし、ヘビーローテーション手法を取り入れ、新曲を1曲でも多く認知してもらい、この歌を歌ってみたいと歌唱喚起に繋がるよう引き続き編成して参ります。

【議長総評】

ブランド力のある第一興商が、その分析を基にプッシュするヒット(が期待できる)曲、アーティストをヘビーローテーションすることは、番組としても魅力的であり、また、音楽文化の振興に有用との意見が主流でした。その上で、だからこそ、その選曲については慎重であるべきとの意見も傾聴すべきものと思われる。

2. 番組改編(リニューアル)につきまして

- ・番組改編の取り組みの適正についてご意見、ご感想をお聞かせください。

◎審議委員：

今後も注目したいと思います。

○局側回答：

前回の番組審議委員会のご意見の中に「無機質感」というお言葉を頂きました。そのご意見を少しでも緩和出来るよう、「ポップ感」「テンポ感」「温かみ」を意識し、リニューアルを実施いたしました。今後も、委員の皆様より頂いたご意見を参考に、よりよい番組制作に努めて参ります。

◎審議委員：

4時間から2時間へのリニューアルは良かったと思います。

DAMのオリジナル「カラオケプレイリスト」紹介。

今回はミュージカルの楽曲を特集していたのだと思うけれど、最近は特にミュージカルの楽曲を歌うファン層が厚く熱いので、ミュージカルに特化したコーナーがあっても良いと思う。

そうなると映画、ステージ・ミュージカルと、より小さい子供の頃から見えて来た劇場版ではないディズニーのDVDミュージカルの日本語詞は、映画と歌詞が違うので、それぞれ多種類を揃えて上げられると喜んで貰えるでしょう。

◎審議委員：

ポップスと演歌をはっきりと分けられたことは自然で聴きやすさにつながったと思います。もちろん御社のリサーチでリスナーの年齢バランスや欲している物が分かるでしょうから無理は言いませんが、演歌・歌謡曲のコーナーをもう1曲、尺で言えば5分程度

伸ばしてはいかがでしょうか。僕は特に演歌が好きというのでは無いのですが、若干短く感じました。

カラオケを歌ってくれる人の指針になる番組作りには大賛成です。

カラオケに行きたくなる番組、という事でも、番組内で流れる楽曲がタイムリーであればあるほど、特に若いリスナーさんたちは歌いたくてウズウズしてくると思いますし、今のコロナ禍の中ではそれこそ、一緒に声を出して歌っている人もいないのでしょうか。新しい楽曲を流しているだけで、ある程度の改編意義は達成しているのでしょうか。

○局側回答：

番組目的に「カラオケ歌唱促進」という名目がございます。ご意見を頂きましたアドバイス要素をナレーションに取り込んでアップデートに繋げて参ります。

【議長総評】

基本的には、今回の一連の番組改編を適正と評価するとともに、前回の番審で指摘があった選曲におけるジャンルの整理についても、改良がなされ、番組の質が向上したとの声も複数あった。

3. その他

- ・編集基準に照らしまして、不適切と思われる点があればご指摘ください。

◎審議委員：

D-PUSH!アーティスト、POPS（コメント+新曲）のコーナーでは、出演者のコメント収録が、それぞれ場所も機材も違っているため、喋りのボリュームがアーティストで違っているのが聞きにくかったです。要注意。

◎審議委員：

今は僕も番組や公での発言時など、コンプライアンスにはたいへん気を使います。まして生番組の場合など、一拍間を置いてから口に出すようにしています。

特に現在はジェンダーなどに関して、以前はそれほどでもなくむしろ場が和むような軽口を言っていましたが、現在はタブーです。

そうした中で、DAMのチャンネルは僕が思うにかなり上品ですし、中でしゃべる方々にも何となくその雰囲気伝わっているのではないのでしょうか。

周りを見ていて感じますが、若くなればなるほど自然に言葉を選んで話をしているように見え、今回お送りいただいた番組に関して言えばまったく問題ないと思います。

【議長総評】

番組編集基準については、特に意見はなかった。現行の基準が適正に機能しているとの評価の表れといえよう。

○局側：(挨拶)

今回は書面開催にもかかわらず、貴重なご意見を多数賜りありがとうございました。いただいたご意見を活かし、エンターテインメント事業本部として、カラオケとBGMの相乗効果も生み出すべく、コンテンツの充実と今後の番組作りに反映させてまいります。引き続き宜しくお願い致します。

以上